



徳島大学及び日亜化学工業株式会社 国際的な協働研究所を共同設置

国立大学法人徳島大学と日亜化学工業株式会社（以下「日亜化学工業」）は、徳島大学に徳島国際サイエンス研究所を共同設置いたします。
同研究所はテクニオンーイスラエル工科大学（以下「テクニオン」）と連携し、高度な研究の実施と人材の育成を目指します。

【発表要旨】

徳島大学は、日亜化学工業と共同で、徳島県を基盤として、世界レベルで活躍できる優秀な研究者・技術者の育成を目的に、徳島大学に徳島国際サイエンス研究所を2021年1月に設置いたします。

同研究所は、日亜化学工業の仲介により、国際的に高く評価されている大学であるテクニオンと連携し、国際共同研究に取り組みます。国際共同研究においては、先進性、卓越性及びイノベーション性を重視し、世の中にインパクトを与える学術的価値あるテーマを選定しました。これらの国際共同研究を通して、テクニオンと徳島大学との間に人的交流と学術研究を推進し、高度な研究の実施と人材の育成を目指します。日亜化学工業は主たる研究資金を拠出し、かつ、必要に応じて協働研究プロジェクトに研究者・技術者を参画させます。

【徳島国際サイエンス研究所の概要】

●名称

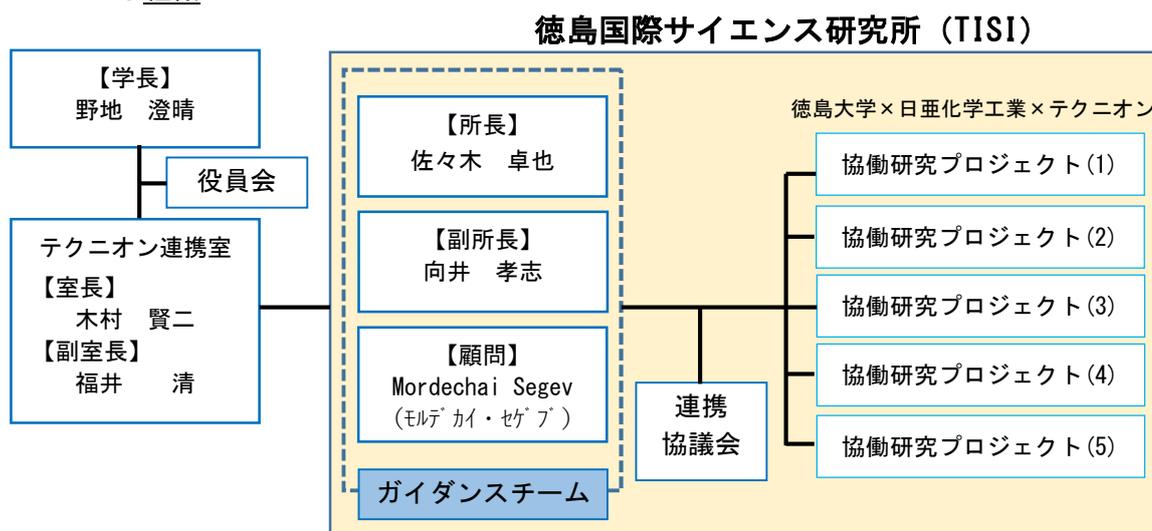
徳島国際サイエンス研究所

英語名：Tokushima International Science Institute (TISI)

●設置予定日

2021年（令和3年）1月1日

●組織



所 長：佐々木 卓也 （徳島大学 理事・副学長（研究担当））

副所長：向井 孝志 （日亜化学工業 取締役研究開発本部長兼徳島研究所長）

顧 問：Mordechai Segev（テクニオン Distinguished Professor）

●事務室

徳島大学 日亜会館 2F

〒770-8501 徳島市新蔵町 2 丁目 24 番地

●設置期間

当初 4 年間（成果に応じて更新）

●協働研究プロジェクト件数・期間

各フェーズ、最大 5 件

フェーズ I：2 年間、フェーズ II：2 年間（合計 4 年間）

フェーズごとに成果を評価、継続/新規採用を判断

●採択基準

研究テーマは、先進性、卓越性及びイノベーション性を重視し、世の中にインパクトを与える新しい学術的価値の観点で決定されます。

【徳島国際サイエンス研究所代表者からのコメント】

●徳島大学 理事・副学長（研究担当）佐々木 卓也

このたび、徳島大学に徳島国際サイエンス研究所（TISI）が設置されることを発表する運びとなりました。TISI の活動につきましては、徳島大学とテクニオンとの5つの協働研究プロジェクトがその骨格をなしています。この事業を立ち上げるにおきまして、日亜化学工業のご助力と、テクニオンとの間に立ったご仲介の労をいただきましたこと、改めまして深く御礼申し上げます。

TISI は、これまで徳島大学単独では実現が難しかった優れたアイデアや、新たな展開が期待できる革新性を訴求した研究を、徳島大学とテクニオンによる協働研究プロジェクトとして実施して参ります。徳島大学はもとより、徳島県の明るい未来を切り拓く大きなきっかけとなるものであり、最善を尽くしていく所存であります。

TISI では、徳島大学が強みを有する生命医科学・理工学をはじめとする自然科学系のリソースと、世界屈指のイノベティブな大学であるテクニオンの強みとを融合させた協働研究活動が実施されます。国内外から徳島を目指して優秀な研究者・技術者が集う国際的なプレゼンスの確立を目指します。併せて、次世代を担う研究成果達成を目指し、TISI は、2021年1月1日を期して船出します。

●テクニオン Distinguished Professor Mordechai Segev（モルデカイ・セゲブ）

テクニオンは、今回徳島大学及び日亜化学工業との協力関係を形成できたことを喜ばしく思っています。テクニオンは、イスラエルで最も古い大学（1912年定礎、1924年開学）であり、イスラエル産業界の立ち上げとイスラエルにおけるハイテク革命に重要な役割を果たしてきました。今日まで、イスラエル産業界の指導者の多くは、テクニオンの卒業生です。

徳島大学及び日亜化学工業との協力関係を確立できたことを非常に嬉しく思います。なぜなら、徳島とイスラエルの2つの文化が互いに補完し合うと信じているからです。協力関係の確立により多くの面で双方に利益があるでしょう。徳島大学と日亜化学工業の若い研究者を、博士号取得のため若しくはポスドクとして、ぜひテクニオンにお招きしたいと思っています。テクニオンで数年間研究を実施し、その後徳島大学や日亜化学工業に戻ればそこで研究を強化発展させることになるでしょう。また同様に、テクニオンの研究者が徳島で長期間過ごすことを奨励します。

TISI の設置はこのような輝かしい未来の始まりであり、これによって我々の研究者間で優れた協力関係が構築されます。両大学の研究力向上に資する、共同研究の成功を祈念するとともに、これらの取組が日本とイスラエルの善意と成功の架け橋になると確信しています。

●日亜化学工業 取締役研究開発本部長兼徳島研究所長 向井 孝志

今回貴重なご縁で、徳島大学、テクニオンのご協力を得て、徳島国際サイエンス研究所を設立できるのは大変喜ばしいことです。

徳島県における65歳以上人口の割合（高齢化比率）は、2000年の21.9%から2018年には33.1%へと上昇し、同期間の人口は9万人以上減少するなど若い方々の県外流出も進んでおり、危機感を抱いているのは、私だけでは無いでしょう。このような流れを止めるために、教育を充実させ、世界レベルの優秀な研究者・技術者を育成する機関を徳島大学に設立することは重要であると考えます。

テクニオンはMIT（マサチューセッツ工科大学）と並び国際的に高く評価されるイノベティブな大学です。また徳島大学は日本特有の粘り強さで、伝統的にモノ

づくりに強い大学です。この機会に是非、両者の協力の下、各大学単独では実施し難いテーマ、結果は分からないが魅力あり・面白そうなテーマ、人類の未来にとって重要なテーマを、積極的に提案しチャレンジしていただきたいと思います。

徳島国際サイエンス研究所が、先端サイエンス研究を通じて、イスラエルと日本の若い研究者の交流のきっかけとなり、世界や地域に貢献できる優秀な人材を輩出できるように、当研究所を支援していきます。

【各機関の概要】

●徳島大学

1949年に旧制の徳島師範学校、徳島青年師範学校、徳島医科大学、徳島医学専門学校、徳島高等学校及び徳島工業専門学校を包括し設置。現在大学院7 教育部・1 研究科、学部6 学部で構成され、さらに、世界最先端の生命系研究を行う先端酵素学研究所、新しい光の分野で革新を起こす研究を行うポストLED フォトニクス研究所、大学病院、産学連携とスタートアップを支える大学産業院などを設置しています。またグローバル化をめざし、世界30 か国99 機関と学術交流協定を結んでおり（12月1日現在）、テクニオンとの協定で31 か国、100 機関となります。さらに200 名を超える外国人留学生を受入れております。2014年ノーベル賞受賞者を輩出し、理系に強みを持つ国立大学として、世界最先端の研究をはじめ、優秀な人材の育成、地域企業との連携を強めています。

基礎データ（2020年5月1日現在）

- 開学 : 1949 年
- 学長 : 野地 澄晴
- 学生数 : 7,390 人（学部5,902 人 大学院1,488 人）
- 教員数 : 941 人
- キャンパス : 常三島キャンパス（総合科学部、理工学部、生物資源産業学部 ほか）
蔵本キャンパス（医学部、歯学部、薬学部 ほか）
- 外部資金 :
共同研究・受託研究・科学研究費補助金（2019 年） 約27 億円
寄附金（2019 年） 約21 億円
- 大学ランキング :
Academic Ranking of World Universities（世界大学学術ランキング）
総合501-600 位（2019 年）
- 大学発ベンチャー数 : 22 社

●テクニオンーイスラエル工科大学

テクニオンは、科学、技術、工学の分野でイスラエルを代表する研究大学であり、世界的にも有数の技術系大学として評価されています。テクニオンはイノベーションと起業家精神で知られており、卒業生や研究者は、世界に影響を与える数々の画期的な発明を行ってきました。また同大は、アーロン・チカノーバー、アブラム・ハーシュコ、ダン・シェヒトマン、アリー・ウォーシエルの4 人のノーベル賞受賞者を輩出しており、長年にわたり、イスラエルを「スタートアップ国家」として位置づける上で重要な役割を果たしてきました。

基礎データ（2020年5月1日現在）

- 開学 : 1924年
- 学長 : Uri Sivan（ウリ・シヴァン）
- 学生数 : 14,734人（学部10,703人 大学院4,031人）
- 教員数 : 566人
- キャンパス : Neve Sha'anani（main campus）
Ruth and Bruce Rappaport（Faculty of Medicine）
Azrieli Sarona（satellite campus）
- 外部資金 :
 - 受託研究 US\$ 101.6 million（2019年）（約106.7億円※）
 - 寄附金 US\$ 111.5 million（2019年）（約117億円※）

○大学ランキング：

Academic Ranking of World Universities（世界大学学術ランキング）

総合85位（2019年）

大学の事業家・起業家育成力に係るPitchBookランキング12位（事業家602人が509社を設立、これまでに\$12 billion（約12,600億円※）を超える資金を調達（2020年）

（※US\$=105円換算）

●日亜化学工業株式会社

日亜化学工業は、日本の徳島県に本社を置く、発光ダイオード（LED）、半導体レーザー（LD）などの光半導体分野とリチウムイオン電池の正極材や蛍光体などの機能性化学品分野の2つの部門を事業の柱とする研究開発型企業。製造品目は各分野で世界トップクラスのシェアを維持しています。

医薬品原料の製造販売で創業し、反応・精製・粉体コントロールなどの技術を生かし、蛍光体などの製造にも進出。蛍光体ビジネスを通じて、光半導体事業にも乗り出し、世界で初めて青色LEDや青紫色LDの量産技術を確立。これらの技術を活用した白色LEDは携帯電話、テレビ、自動車、照明などに利用されています。

また、阿南市（徳島県）、横浜市（神奈川県）、下諏訪町（長野県）に研究所や技術センターを有しており、最先端の光に関わる研究に取り組むとともに、イノベーションを起こすべく萌芽的研究開発にも挑戦しています。

【協働研究所制度】（参考）

徳島大学では、令和2年10月1日付けで協働研究所制度を整備し、その第1号として、令和3年1月1日付けで徳島国際サイエンス研究所（TISI）が設置されることとなりました。

協働研究所は、学内に設ける独立した研究組織で、本学と企業等が協議しながら研究を行い、柔軟かつ迅速に研究活動を運営することを特徴とし、企業等の資金だけでなく人材を含めた産学連携によって、大学の教育力と研究力を高める取り組みを進めるため、多面的な産学協働活動を展開する拠点となります。協働研究所制度は我が国の国立大学では、大阪大学、東京工業大学に続く3番目となり、TISIも、この協働研究所制度の下で運営されます。

TISIは、海外の高等教育機関と連携し、国際共同研究に取り組むという大きな強みがあります。

【問い合わせ先】

<徳島大学>

責任者 副学長 木村 賢二

担当者 研究・産学連携部 地域産業創生事業推進課
課長 滝川 泰弘

電話番号 088-656-9019

メールアドレス gc_kikakussc@tokushima-u.ac.jp

<日亜化学工業株式会社>

責任者 取締役研究開発本部長兼徳島研究所長 向井 孝志

担当者 総務部広報担当

課長代理 湯浅 泰三

電話番号 0884-22-2311

メールアドレス taizo.yuasa@nichia.co.jp